

氏名	平野裕子	部署	看護学科	職名	准教授
研究分野	がん看護 終末期看護 看取り				
学位	修士（人間科学）				
学歴	東邦大学医療短期大学看護学科、東邦大学医療短期大学専攻科地域看護学専攻、東洋英和女学院大学大学院人間科学研究科人間科学専攻（死生学）				
経歴	2003年7月埼玉県立大学短期大学部助手、2006年埼玉県立大学助教、2012年同大学講師、2018年同大准教授				
所属学会（役職）	日本がん看護学会、日本看護研究学会、日本臨死死生学会、日本死の臨床研究会、日本歯科衛生教育学会、埼玉県立大学保健医療福祉学会				

【2020年度実績】

1. 研究業績						
(1) 著作						
	著作の名称	単・共	ISBN	発行所、全ページ数	著者、編者名	発行等年月
1	該当なし					
(2) 論文						
	論文の名称	単・共	査読	IF対象誌 雑誌名、巻(号)、開始-終了ページ	著者、編者名	発表等年月
1	患者を看取る看護師の感情と向き合い方：感情移入に焦点を当てて	共著	あり	日本看護学会論文集、慢性期看護 50, P.222-225	茂原広夏、平野裕子、多田則子	2020.07
(3) 学会発表						
	学会発表の演題	単・共	学会名、開催都市	発表者（発表者は○印）	発表等年月	
1	該当なし					
(4) その他						
	名称	単・共	発表場所等	発表者（発表者は○印）	発表等年月	
1	触れるケアのImplementation～afterコロナに向けて患者にマッサージを実施するためのエビデンスと条件～	共同	第40回日本看護科学学会学術集会 交流集会1	○岡本佐智子、船場清三、平井玲子、見谷貴代、佐藤安代、渋谷えり子、平野裕子	2020.12	
2	終末期の患者にも行える「触れるケア」～がん拠点病院、ファミリーハウスでの活動を例に～	共同	第35回日本がん看護学会学術集会 交流集会1	○岡本佐智子、見谷貴代、船場清三、光樂香織、平井玲子、渋谷えり子、平野裕子、佐藤安代	2021.2	
2. 競争的資金等の研究						
	競争的資金等の名称	研究名	研究代表者・研究分担者の別	研究期間		
1	文部科学省・日本学術振興会科学研究費補助金（基盤研究C）	患者の死に曝され続ける中堅看護師の看取り力深化を目指した態度教育プログラムの開発	研究代表者	2021.4-2024.3		
2	文部科学省・日本学術振興会科学研究費補助金（基盤研究C）	介護老人福祉施設における介護職員への喀痰吸引に関する技術支援プログラムの開発	研究分担者	2021.4-2024.3		
3	文部科学省・日本学術振興会科学研究費補助金（基盤研究C）	がん患者を親に持つ子どものグリーフを支援する医療と地域の連携システムの構築	分担研究者	2017.4-2021.3		
3. 教育業績						
(1) 講義						
	講義の名称	科目責任者	コマ数	概要（教育内容・方法等において工夫した点）		
1	成人看護学Ⅲ		1	大腸手術後の機能障害を持つ患者の看護について事例を紹介しながらオンデマンド講義を行った。		
2	成人看護学Ⅳ		1	災害急性期・亜急性期の特徴を踏まえ、被災者への援助についてオンデマンド講義を行った。		
3	がん看護		1	臨死期の看護の特徴を踏まえ、患者の身体変化をや看護師の役割が意識できるよう一部演習を取り入れ、実施した。		
4	リハビリテーション看護		1	成人期にある対象への障害受容および退院後の生活を見越したケアについて実施した。		
5	口腔保健特論		2	APCのワークを踏まえ、歯科衛生士として死にゆく患者への理解、ケア方法だけでなく態度が深まるよう行った。		

(2) 演習				
	演習の名称	科目責任者	コマ数	概要 (教育内容・方法等において工夫した点)
1	成人看護学Ⅲ		6	胃がん術後事例の看護過程を担当した。全身麻酔の影響への理解につながるようグループワークを支援した。
2	成人看護学Ⅴ		4	看護過程 (慢性心不全の急性増悪事例) において10名の学生を担当した。提出記録は個別にコメントを入れ、理解促進に努めた。
(3) 実習				
	実習の名称	科目責任者	学外実習：期間 学内実習：コマ数	概要 (教育内容・方法等において工夫した点)
1	成人看護学実習Ⅰ	○	2020.5-2020.6	経時的回復過程が理解できるよう、大腸がん術後事例を作成し、事例展開できるように支援した。
2	成人看護学実習Ⅲ	○	2020.9	災害サイクルを踏まえた看護援助について講義、演習、グループワークを取り入れ、実施した。
3	IPW実習		2020.9-2020.10	FTとして障がい者事例について学生6名が自主的かつ積極的な学びを促進できるように、支援した。
(4) 論文指導				
	対象	期間	主指導・副指導の別及び指導人数	
1	卒業論文	2020.4-2020.12	主指導 4名	副指導 名
2	修士論文		主指導 (指導教員) 名	副指導 (指導補助教員) 名
3	博士論文		主指導 (指導教員) 名	副指導 (指導補助教員) 名
(5) その他				
	名称	期間	概要 (教育内容・方法等において工夫した点)	
1	該当なし			
4. 社会貢献活動				
(1) 講演会、研究会、公開講座等の講師				
	講演会、研究会、公開講座等の名称	主催	講演、研修、公開講座等のテーマ	開催年月
1	該当なし			
(2) 国、自治体、学術団体等における委員等				
	国、自治体、学術団体等の名称	委員等の名称		任期
1	日本死の臨床研究会	編集委員		2021.1-
(3) ジャーナリズムでの発言				
	メディア等の名称	内容		年月
1	該当なし			
(4) その他				
	項目	相手方等	内容	期間
1	該当なし			
5. 学内運営				
	項目	内容		期間
1	全学的委員会及びセンター業務等	研究倫理委員		2020.4-2021.3
2	学生支援	4年担任		2020.4-2021.3
3	学生支援	国家試験PJ		2020.4-2021.3
4	学科等における委員会等	JANPU 災害連携教員		2021.2-2021.3
6. 受賞 (研究、教育、社会貢献活動に関するもの)				
	受賞名	主催		受賞年月
1	該当なし			
7. 特許の取得				
	特許名	特許番号		登録年月
1	該当なし			
8. 特記事項				
研究	該当なし			